

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	建築製図Ⅰ			③ 履修学年	1																																																																
② 対象学科	工業専門課程 建築工学科（昼間部）		⑤ 時間数	192	⑥ 単位数	12																																																															
④ 必修・選択の別	必修	⑧ 実務経験	施工実務経験者																																																																		
⑦ 担当教員(代表)	岩雲 康弘		⑩ 授業の実施方法	対面授業																																																																	
⑨ 授業形態	演習																																																																				
⑪ 評価基準	提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。																																																																				
⑫ 授業の目的・目標	<p>各種の建築物の知識と図面表現を的確に学ぶ。</p> <p>1. 用途別の設計図面の特徴を押さえ、図面の読み取りと表現ができる。</p> <p>2. 構造別の設計図面の特徴を押さえ、図面の読み取りと表現ができる。</p>																																																																				
⑬ 授業の概要	<p>建築設計に関連する諸科目の学習の基礎として各種用途の建物（住宅、事務所、集会場等）や各種構造の建物（木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造等）をケント紙やトレーシングペーパーに、実務的表現に力点を置いた手法で描く。</p>																																																																				
⑭ 準備学習・事後学習	学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。																																																																				
⑮ 授業計画	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>線・文字の練習1</td> <td>17</td> <td>専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の立面図</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>線・文字の練習2</td> <td>18</td> <td>専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の矩計図1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>表示記号（平面表示記号、材料構造表示記号）のトレース</td> <td>19</td> <td>専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の矩計図2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>専用住宅(木造2階建)の平面図</td> <td>20</td> <td>専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の階段詳細図</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>専用住宅(木造2階建)の断面図</td> <td>21</td> <td>専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の伏図</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>専用住宅(木造2階建)の立面図</td> <td>22</td> <td>専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の軸組図</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>専用住宅(木造2階建)の矩計図1</td> <td>23</td> <td>集会場(鉄骨造2階建)の平面図</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>専用住宅(木造2階建)の矩計図2</td> <td>24</td> <td>集会場(鉄骨造2階建)の断面図</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>専用住宅(木造2階建)の伏図</td> <td>25</td> <td>集会場(鉄骨造2階建)の立面図</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>専用住宅(木造2階建)の軸組図</td> <td>26</td> <td>集会場(鉄骨造2階建)の矩計図1</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>専用住宅(木造2階建)の平面詳細図1</td> <td>27</td> <td>集会場(鉄骨造2階建)の矩計図2</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>専用住宅(木造2階建)の平面詳細図2</td> <td>28</td> <td>木造2階建専用住宅の設計図面（プランニング）1</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>専用住宅(木造2階建)の建具表</td> <td>29</td> <td>木造2階建専用住宅の設計図面（プランニング）2</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>専用住宅(木造2階建)の展開図</td> <td>30</td> <td>木造2階建専用住宅の設計図面（平面図）</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の平面図</td> <td>31</td> <td>木造2階建専用住宅の設計図面（断面図）</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の断面図</td> <td>32</td> <td>木造2階建専用住宅の設計図面（立面図）</td> </tr> </table>					1	線・文字の練習1	17	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の立面図	2	線・文字の練習2	18	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の矩計図1	3	表示記号（平面表示記号、材料構造表示記号）のトレース	19	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の矩計図2	4	専用住宅(木造2階建)の平面図	20	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の階段詳細図	5	専用住宅(木造2階建)の断面図	21	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の伏図	6	専用住宅(木造2階建)の立面図	22	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の軸組図	7	専用住宅(木造2階建)の矩計図1	23	集会場(鉄骨造2階建)の平面図	8	専用住宅(木造2階建)の矩計図2	24	集会場(鉄骨造2階建)の断面図	9	専用住宅(木造2階建)の伏図	25	集会場(鉄骨造2階建)の立面図	10	専用住宅(木造2階建)の軸組図	26	集会場(鉄骨造2階建)の矩計図1	11	専用住宅(木造2階建)の平面詳細図1	27	集会場(鉄骨造2階建)の矩計図2	12	専用住宅(木造2階建)の平面詳細図2	28	木造2階建専用住宅の設計図面（プランニング）1	13	専用住宅(木造2階建)の建具表	29	木造2階建専用住宅の設計図面（プランニング）2	14	専用住宅(木造2階建)の展開図	30	木造2階建専用住宅の設計図面（平面図）	15	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の平面図	31	木造2階建専用住宅の設計図面（断面図）	16	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の断面図	32	木造2階建専用住宅の設計図面（立面図）
1	線・文字の練習1	17	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の立面図																																																																		
2	線・文字の練習2	18	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の矩計図1																																																																		
3	表示記号（平面表示記号、材料構造表示記号）のトレース	19	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の矩計図2																																																																		
4	専用住宅(木造2階建)の平面図	20	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の階段詳細図																																																																		
5	専用住宅(木造2階建)の断面図	21	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の伏図																																																																		
6	専用住宅(木造2階建)の立面図	22	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の軸組図																																																																		
7	専用住宅(木造2階建)の矩計図1	23	集会場(鉄骨造2階建)の平面図																																																																		
8	専用住宅(木造2階建)の矩計図2	24	集会場(鉄骨造2階建)の断面図																																																																		
9	専用住宅(木造2階建)の伏図	25	集会場(鉄骨造2階建)の立面図																																																																		
10	専用住宅(木造2階建)の軸組図	26	集会場(鉄骨造2階建)の矩計図1																																																																		
11	専用住宅(木造2階建)の平面詳細図1	27	集会場(鉄骨造2階建)の矩計図2																																																																		
12	専用住宅(木造2階建)の平面詳細図2	28	木造2階建専用住宅の設計図面（プランニング）1																																																																		
13	専用住宅(木造2階建)の建具表	29	木造2階建専用住宅の設計図面（プランニング）2																																																																		
14	専用住宅(木造2階建)の展開図	30	木造2階建専用住宅の設計図面（平面図）																																																																		
15	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の平面図	31	木造2階建専用住宅の設計図面（断面図）																																																																		
16	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の断面図	32	木造2階建専用住宅の設計図面（立面図）																																																																		
⑰ その他	教科書	超入門 建築製図	出版社：	市ヶ谷出版社																																																																	
	教材	配布資料	著者：	永井孝保 他																																																																	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	010101																																																																

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築製図Ⅱ	
② 対象学科		工業専門課程 建築工学科（昼間部）	
④ 必修・選択の別		⑤ 時間数	162
⑦ 担当教員(代表)		⑧ 実務経験	設計実務経験者
⑨ 授業形態		⑩ 授業の実施方法	対面授業
⑪ 評価基準			
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。			
⑫ 授業の目的・目標			
1. クライアントの希望や設計条件を正確に把握できる能力を身につける。 2. 設計資料の収集の仕方や分析、また、設計時に必要な計画上の基礎知識を増やす。 3. 提案の趣旨を効果的にプレゼンテーションできる能力を磨く。			
⑬ 授業の概要			
木造の設計では住宅の平面・立面をはじめ、伏図・軸組等の構造図までを描く。木造以外の設計では鉄筋コンクリート造の共同住宅(標準規模:住戸面積80㎡、延べ面積2400㎡、4階建て程度)・ホテル・図書館・学校・公民館と鉄骨造の商業施設の中から一つを選択し設計する。			
⑭ 準備学習・事後学習			
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。			
⑮ 授業計画			
1	木造2階建専用住宅の設計図面（エスキース等）の作成1	17	非木造建築物の設計図面（配置図・求積表・面積表・1階平面図）の作成1
2	木造2階建専用住宅の設計図面（エスキース等）の作成2	18	非木造建築物の設計図面（配置図・求積表・面積表・1階平面図）の作成2
3	木造2階建専用住宅の設計図面（配置図・求積図・面積表・1階平面図・2階平面図）の作成	19	非木造建築物の設計図面（基準階平面図等）の作成
4	木造2階建専用住宅の設計図面（立面図・断面図）の作成	20	非木造建築物の設計図面（屋階平面図等）の作成
5	木造2階建専用住宅の設計図面（矩計図）の作成	21	非木造建築物の設計図面（立面図等）の作成
6	木造2階建専用住宅の設計図面（1階平面詳細図・2階平面詳細図）の作成	22	非木造建築物の設計図面（断面図等）の作成
7	木造2階建専用住宅の設計図面（展開図）	23	非木造建築物の設計図面（1階平面詳細図等）の作成
8	木造2階建専用住宅の設計図面（基礎伏図・1階床伏図）の作成	24	非木造建築物の設計図面（基準階平面詳細図等）の作成
9	木造2階建専用住宅の設計図面（2階床伏図兼1階小屋伏図・2階小屋伏図）の作成	25	非木造建築物の設計図面（断面詳細図等）の作成
10	木造2階建専用住宅の設計図面（各通り軸組図・仕上げ表・表紙）の作成	26	非木造建築物の設計図面（大梁、小梁、柱の断面リスト）の作成
11	木造2階建専用住宅の壁量計算書の作成1	27	非木造建築物の設計図面（各種伏図・各種配筋図）の作成
12	木造2階建専用住宅の壁量計算書の作成2	28	
13	木造2階建専用住宅の確認申請書の作成1	29	
14	木造2階建専用住宅の確認申請書の作成2	30	
15	非木造建築物の設計図面（エスキース等）の作成1	31	
16	非木造建築物の設計図面（エスキース等）の作成2	32	
⑰ その他		教科書	超入門 建築製図
		教材	配布資料
		出版社：	市ヶ谷出版社
		著者：	永井孝保 他
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。		科目コード
			010102

授業計画 (シラバス)

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築C A D I				
② 対象学科		工業専門課程 建築工学科 (屋間部)		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	64	⑥ 単位数	4
⑦ 担当教員(代表)		山田 梨佳		⑧ 実務経験		設計実務経験者
⑨ 授業形態		演習		⑩ 授業の実施方法		対面授業
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
JW_CADの基本操作を習得し、基本的な建築設計図を作図する能力を習得する。 基本操作習得後は、効率の良い作図の方法を学び、作図スピードの向上を図る。 図面のトレース能力を高めると共に、データの受け渡しに関する知識も習得する。						
⑬ 授業の概要						
基本的操作方法の練習。 木造住宅等の各種図面を作成。 CADソフトにある多くのコマンドを使いこなして作図効率を高める練習をする。 RC造集合住宅図面の作成。						
⑭ 準備学習・事後学習						
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	CADの基本的操作1	17	木造2階建専用住宅の設計図面1 (各通り軸組図・仕上げ表・表紙) の作成3			
2	CADの基本的操作2	18	木造2階建専用住宅の設計図面2 (平面図) の作成1			
3	CADの基本的操作3	19	木造2階建専用住宅の設計図面2 (平面図) の作成2			
4	木造2階建専用住宅の設計図面1 (平面図等) の作成1	20	木造2階建専用住宅の設計図面2 (平面図) の作成3			
5	木造2階建専用住宅の設計図面1 (平面図等) の作成2	21	木造2階建専用住宅の設計図面2 (断面図) の作成			
6	木造2階建専用住宅の設計図面1 (平面図等) の作成3	22	木造2階建専用住宅の設計図面2 (立面図) の作成			
7	木造2階建専用住宅の設計図面1 (断面図) の作成1	23	木造2階建専用住宅の設計図面2 (矩計図) の作成			
8	木造2階建専用住宅の設計図面1 (断面図) の作成2	24	RC造階段図面の作図練習1			
9	木造2階建専用住宅の設計図面1 (立面図) の作成1	25	RC造階段図面の作図練習2			
10	木造2階建専用住宅の設計図面1 (立面図) の作成2	26	RC造建具詳細図面の作図練習1			
11	木造2階建専用住宅の設計図面1 (建具表・建具キープラン) の作成1	27	RC造建具詳細図面の作図練習2			
12	木造2階建専用住宅の設計図面1 (建具表・建具キープラン) の作成2	28	RC造集合住宅の設計図面 (基準階平面図) の作成1			
13	木造2階建専用住宅の設計図面1 (展開図) の作成1	29	RC造集合住宅の設計図面 (基準階平面図) の作成2			
14	木造2階建専用住宅の設計図面1 (展開図) の作成2	30	RC造集合住宅の設計図面 (基準階平面図) の作成3			
15	木造2階建専用住宅の設計図面1 (各通り軸組図・仕上げ表・表紙) の作成1	31	RC造集合住宅の設計図面 (立面図) の作成1			
16	木造2階建専用住宅の設計図面1 (各通り軸組図・仕上げ表・表紙) の作成2	32	RC造集合住宅の設計図面 (立面図) の作成2			
⑰ その他		教科書	出版社:			
		教材	著者:			
		配布資料				
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	010103

授業計画 (シラバス)

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築CADⅡ				
② 対象学科		工業専門課程 建築工学科 (屋間部)		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	54	⑥ 単位数	3
⑦ 担当教員(代表)		蜂須賀 亮子		⑧ 実務経験		設計実務経験者
⑨ 授業形態		演習		⑩ 授業の実施方法		対面授業
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
JW_CADやArchiCAD等のCADシステムの応用操作を習得し、建築設計プロジェクトの中でCADを利用した設計図作成を統括できる力を習得する。 作図スピード向上を目指し、更にCADデータを他のソフトで活用する能力と知識を習得する。						
⑬ 授業の概要						
基本的操作方法を元に、応用操作の習得を目指し、実際の非木造建築物(鉄筋コンクリート造共同住宅(4階建2400㎡程度)・ホテル・図書館・学校、鉄骨造の商業施設等)の各種図面の作成をおこなう。さらに、CADシステムの特性を生かした、立体図・日影図等の作図を行う。						
⑭ 準備学習・事後学習						
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	R C造建築物の設計図面課題1 (1階平面図等)の作成1	17	S造建築物の設計図面課題2 (基準階平面図等)の作成1			
2	R C造建築物の設計図面課題1 (1階平面図等)の作成2	18	S造建築物の設計図面課題2 (基準階平面図等)の作成2			
3	R C造建築物の設計図面課題1 (1階平面図等)の作成3	19	S造建築物の設計図面課題2 (基準階平面図等)の作成3			
4	R C造建築物の設計図面課題1 (基準階平面図等)の作成1	20	S造建築物の設計図面課題2 (立面図等)の作成1			
5	R C造建築物の設計図面課題1 (基準階平面図等)の作成2	21	S造建築物の設計図面課題2 (立面図等)の作成2			
6	R C造建築物の設計図面課題1 (基準階平面図等)の作成3	22	S造建築物の設計図面課題2 (断面図等)の作成1			
7	R C造建築物の設計図面課題1 (立面図等)の作成1	23	S造建築物の設計図面課題2 (断面図等)の作成2			
8	R C造建築物の設計図面課題1 (立面図等)の作成2	24	S造建築物の設計図面課題2 (立体図・日影図)の作成1			
9	R C造建築物の設計図面課題1 (断面図等)の作成1	25	S造建築物の設計図面課題2 (立体図・日影図)の作成2			
10	R C造建築物の設計図面課題1 (断面図等)の作成2	26	S造建築物の設計図面課題2 図面のまとめ1			
11	R C造建築物の設計図面課題1 (立体図・日影図)の作成1	27	S造建築物の設計図面課題2 図面のまとめ2			
12	R C造建築物の設計図面課題1 (立体図・日影図)の作成2	28				
13	R C造建築物の設計図面課題1 図面のまとめ	29				
14	S造建築物の設計図面課題2 (1階平面図等)の作成1	30				
15	S造建築物の設計図面課題2 (1階平面図等)の作成2	31				
16	S造建築物の設計図面課題2 (1階平面図等)の作成3	32				
⑰ その他		教科書	出版社:			
		教材	著者:			
		配布資料				
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	010104

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築計画				
② 対象学科		工業専門課程 建築工学科（昼間部）		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	54	⑥ 単位数	3
⑦ 担当教員(代表)		小牧 友久		⑧ 実務経験		設計実務経験者
⑨ 授業形態		講義		⑩ 授業の実施方法		対面授業
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
各種建築物に関する知見を整理し、設計段階（基本設計）における空間計画（特に平面計画）の基礎知識を習得する。さらに、これらの知識を活用し設計製図に取り組める能力を養っていく。						
⑬ 授業の概要						
空間計画としての必須条件と、人間の生活・行動に関わる基本的な考え方を踏まえ、各種ビルディングタイプ別にその歴史・背景から、全体計画及び細部計画にいたるまでの知識を習得する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	計画と設計、居住施設の計画（住様式と住宅の変化）	17	医療施設・福祉施設の計画（高齢化社会と建築計画）			
2	居住施設の計画（一戸建て住宅）1	18	医療施設・福祉施設の計画（病院）			
3	居住施設の計画（一戸建て住宅）2	19	医療施設・福祉施設の計画（高齢者施設）			
4	居住施設の計画（集合住宅）1	20	商業施設の計画（規模計画と経済効果）			
5	居住施設の計画（集合住宅）2	21	商業施設の計画（事務所ビル）			
6	居住住宅の計画（細部計画）1	22	商業施設の計画（劇場・音楽ホール）			
7	居住住宅の計画（細部計画）2	23	商業施設の計画（百貨店・スーパーマーケット）			
8	学校教育施設の計画（幼稚園・保育所）	24	商業施設の計画（駐車場）			
9	学校教育施設の計画（小学校・中学校）1	25	商業施設の計画（宿泊施設・ホテル）			
10	学校教育施設の計画（小学校・中学校）2	26	外部空間の計画			
11	社会教育施設の計画（生活圏とコミュニティ施設）	27	確認試験			
12	社会教育施設の計画（図書館）	28				
13	社会教育施設の計画（美術館）	29				
14	社会教育施設の計画（コミュニティセンター・公民館）	30				
15	居住施設・学校教育施設・社会教育施設のまとめ	31				
16	確認試験	32				
⑰ その他		教科書	初学者の建築講座 建築計画	出版社：	市ヶ谷出版社	
		教材	配布資料	著者：	佐藤考一・五十嵐太郎	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	010201

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	計画実践																																																																		
② 対象学科	工業専門課程 建築工学科（昼間部）	③ 履修学年	2																																																																
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	81																																																																
⑦ 担当教員(代表)	佐藤 龍彦	⑥ 単位数	5																																																																
⑧ 実務経験	設計実務経験者																																																																		
⑨ 授業形態	演習	⑩ 授業の実施方法	対面授業																																																																
⑪ 評価基準	提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。																																																																		
⑫ 授業の目的・目標	建築計画と建築製図の知識を活かし、より実践的な条件下で、住宅から各種建築物の具体的な間取りや外観等を多角的に検討して行く。実際のエスキース作業を通し、建物の計画立案における各段階に必要な知識と技術を習得させる。																																																																		
⑬ 授業の概要	<p>実戦的問題演習により、総合的に建築計画をまとめて行く。</p> <p>1. エスキース段階における建物内外の立体的思考をする。</p> <p>2. デザインのみにとらわれず、構造面にも十分配慮された計画の立案をする。</p> <p>3. 木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造の各構造の特徴をふまえた計画を立案する。</p>																																																																		
⑭ 準備学習・事後学習	学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。																																																																		
⑮ 授業計画	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>住宅様式の変遷と住宅平面の類型、住宅における各室の機能と配置・平面計画1</td> <td>17</td> <td>鉄筋コンクリート造・鉄骨造の配置・平面・立面・断面計画1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>住宅様式の変遷と住宅平面の類型、住宅における各室の機能と配置・平面計画2</td> <td>18</td> <td>鉄筋コンクリート造・鉄骨造の配置・平面・立面・断面計画2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>木造戸建て住宅の、配置・平面・立面・断面計画1</td> <td>19</td> <td>鉄筋コンクリート造戸建て住宅の平面計画とエスキース演習1</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>木造戸建て住宅の、配置・平面・立面・断面計画2</td> <td>20</td> <td>鉄筋コンクリート造戸建て住宅の平面計画とエスキース演習2</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>木造戸建て住宅の、基礎伏せ図・1階床伏せ図の作図法1</td> <td>21</td> <td>鉄筋コンクリート造公共建築物等の平面計画とエスキース演習1</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>木造戸建て住宅の、基礎伏せ図・1階床伏せ図の作図法2</td> <td>22</td> <td>鉄筋コンクリート造公共建築物等の平面計画とエスキース演習2</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>木造戸建て住宅の、2階床伏せ図・小屋伏せ図の作図法1</td> <td>23</td> <td>鉄骨造戸建て住宅の平面計画とエスキース演習1</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>木造戸建て住宅の、2階床伏せ図・小屋伏せ図の作図法2</td> <td>24</td> <td>鉄骨造戸建て住宅の平面計画とエスキース演習2</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>木造戸建て住宅各伏せ図の作図演習1</td> <td>25</td> <td>鉄骨造公共建築物等の平面計画とエスキース演習1</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>木造戸建て住宅各伏せ図の作図演習2</td> <td>26</td> <td>鉄骨造公共建築物等の平面計画とエスキース演習2</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>木造戸建て住宅の矩計図の作図法及び演習1</td> <td>27</td> <td>総まとめ</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>木造戸建て住宅の矩計図の作図法及び演習2</td> <td>28</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>木造2階建て専用住宅の平面計画とエスキース演習1</td> <td>29</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>木造2階建て専用住宅の平面計画とエスキース演習2</td> <td>30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>木造2階建て店舗併用住宅の平面計画とエスキース演習1</td> <td>31</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>木造2階建て店舗併用住宅の平面計画とエスキース演習2</td> <td>32</td> <td></td> </tr> </table>			1	住宅様式の変遷と住宅平面の類型、住宅における各室の機能と配置・平面計画1	17	鉄筋コンクリート造・鉄骨造の配置・平面・立面・断面計画1	2	住宅様式の変遷と住宅平面の類型、住宅における各室の機能と配置・平面計画2	18	鉄筋コンクリート造・鉄骨造の配置・平面・立面・断面計画2	3	木造戸建て住宅の、配置・平面・立面・断面計画1	19	鉄筋コンクリート造戸建て住宅の平面計画とエスキース演習1	4	木造戸建て住宅の、配置・平面・立面・断面計画2	20	鉄筋コンクリート造戸建て住宅の平面計画とエスキース演習2	5	木造戸建て住宅の、基礎伏せ図・1階床伏せ図の作図法1	21	鉄筋コンクリート造公共建築物等の平面計画とエスキース演習1	6	木造戸建て住宅の、基礎伏せ図・1階床伏せ図の作図法2	22	鉄筋コンクリート造公共建築物等の平面計画とエスキース演習2	7	木造戸建て住宅の、2階床伏せ図・小屋伏せ図の作図法1	23	鉄骨造戸建て住宅の平面計画とエスキース演習1	8	木造戸建て住宅の、2階床伏せ図・小屋伏せ図の作図法2	24	鉄骨造戸建て住宅の平面計画とエスキース演習2	9	木造戸建て住宅各伏せ図の作図演習1	25	鉄骨造公共建築物等の平面計画とエスキース演習1	10	木造戸建て住宅各伏せ図の作図演習2	26	鉄骨造公共建築物等の平面計画とエスキース演習2	11	木造戸建て住宅の矩計図の作図法及び演習1	27	総まとめ	12	木造戸建て住宅の矩計図の作図法及び演習2	28		13	木造2階建て専用住宅の平面計画とエスキース演習1	29		14	木造2階建て専用住宅の平面計画とエスキース演習2	30		15	木造2階建て店舗併用住宅の平面計画とエスキース演習1	31		16	木造2階建て店舗併用住宅の平面計画とエスキース演習2	32	
1	住宅様式の変遷と住宅平面の類型、住宅における各室の機能と配置・平面計画1	17	鉄筋コンクリート造・鉄骨造の配置・平面・立面・断面計画1																																																																
2	住宅様式の変遷と住宅平面の類型、住宅における各室の機能と配置・平面計画2	18	鉄筋コンクリート造・鉄骨造の配置・平面・立面・断面計画2																																																																
3	木造戸建て住宅の、配置・平面・立面・断面計画1	19	鉄筋コンクリート造戸建て住宅の平面計画とエスキース演習1																																																																
4	木造戸建て住宅の、配置・平面・立面・断面計画2	20	鉄筋コンクリート造戸建て住宅の平面計画とエスキース演習2																																																																
5	木造戸建て住宅の、基礎伏せ図・1階床伏せ図の作図法1	21	鉄筋コンクリート造公共建築物等の平面計画とエスキース演習1																																																																
6	木造戸建て住宅の、基礎伏せ図・1階床伏せ図の作図法2	22	鉄筋コンクリート造公共建築物等の平面計画とエスキース演習2																																																																
7	木造戸建て住宅の、2階床伏せ図・小屋伏せ図の作図法1	23	鉄骨造戸建て住宅の平面計画とエスキース演習1																																																																
8	木造戸建て住宅の、2階床伏せ図・小屋伏せ図の作図法2	24	鉄骨造戸建て住宅の平面計画とエスキース演習2																																																																
9	木造戸建て住宅各伏せ図の作図演習1	25	鉄骨造公共建築物等の平面計画とエスキース演習1																																																																
10	木造戸建て住宅各伏せ図の作図演習2	26	鉄骨造公共建築物等の平面計画とエスキース演習2																																																																
11	木造戸建て住宅の矩計図の作図法及び演習1	27	総まとめ																																																																
12	木造戸建て住宅の矩計図の作図法及び演習2	28																																																																	
13	木造2階建て専用住宅の平面計画とエスキース演習1	29																																																																	
14	木造2階建て専用住宅の平面計画とエスキース演習2	30																																																																	
15	木造2階建て店舗併用住宅の平面計画とエスキース演習1	31																																																																	
16	木造2階建て店舗併用住宅の平面計画とエスキース演習2	32																																																																	
⑯ その他	教科書	出版社：																																																																	
	教材	著者：																																																																	
	配布資料																																																																		
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。		科目コード 010202																																																																

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築史	
② 対象学科		工業専門課程 建築工学科（屋間部）	
④ 必修・選択の別		必修	
⑤ 時間数		32	
③ 履修学年		1	
⑥ 単位数		2	
⑦ 担当教員(代表)		岩田 敏也	
⑧ 実務経験		施工実務経験者	
⑨ 授業形態		講義	
⑩ 授業の実施方法		対面授業	
⑪ 評価基準			
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。			
⑫ 授業の目的・目標			
単なる技術の歴史だけではなく、気候風土から政治・社会・宗教にいたるまで建築独自の性格について、日本建築・西洋建築について学び、建築物の特徴やデザイン、建築美について学ぶ。これにより建築技術者としての必要な常識を養い、その基盤に立ってこれからの建築のあり方についての進路を切り開く。			
⑬ 授業の概要			
各時代の代表的な建築物をいくつか具体的に取り上げ、クローズアップしていく。その時代の建築物の特徴・材料・技術（工法）史を捉えることにより、次の時代への考察も併行して行う。建築の変遷の流れと特徴を正しく理解することにより、現代建築学が向かうべき姿勢を学習する。			
⑭ 準備学習・事後学習			
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。			
⑮ 授業計画			
1	日本古代の建築（縄文～古墳時代の住居、集落、奈良・平安時代の仏寺建築、神社建築、寝殿造）	17	
2	日本中世の建築（和様、大仏様、禅宗様の特徴、新しい建築様式）	18	
3	日本近世の建築1（城郭建築、書院造、数寄屋風建築、寺院建築）	19	
4	日本近世の建築2（霊廟建築、農家の発達）	20	
5	日本の建築まとめ	21	
6	西洋古代の建築（オリエント、エジプト、ギリシア、ローマ建築の特徴と技術史）1	22	
7	西洋古代の建築（オリエント、エジプト、ギリシア、ローマ建築の特徴と技術史）2	23	
8	西洋中世の建築（初期キリスト教、ビザンチン、ロマネスク、ゴシック建築の特徴と技術史）1	24	
9	西洋中世の建築（初期キリスト教、ビザンチン、ロマネスク、ゴシック建築の特徴と技術史）2	25	
10	西洋近世の建築（ルネサンス、バロック、新古典主義建築の特徴と技術史）1	26	
11	西洋近世の建築（ルネサンス、バロック、新古典主義建築の特徴と技術史）2	27	
12	近代建築史「西洋」（産業革命、造形と芸術、様式の確率、国際建築の発展）	28	
13	近代建築史「日本」（洋風建築、外人技士の活動と日本建築家の育成）	29	
14	近代建築史「戦後」（ポストモダン、耐震建築構造の発展、都市、建築家のあり方とそのニーズ）	30	
15	総まとめ（最新の建築状況について、及び考察）	31	
16	確認試験	32	
⑰ その他		教科書	コンパクト版 建築史（日本・西洋）
		教材	配布資料
		出版社：	彰国社
		著者：	「建築史」編集委員会
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。		科目コード
			010203

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		環境工学	
② 対象学科		工業専門課程 建築工学科（昼間部）	
④ 必修・選択の別		⑤ 時間数	64
⑦ 担当教員(代表)		⑧ 実務経験	設計実務経験者
⑨ 授業形態		⑩ 授業の実施方法	対面授業
⑪ 評価基準			
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。			
⑫ 授業の目的・目標			
健康で快適な室内環境を実現するための知識として、建築に求められる環境条件を物理量や感覚評価量を体系的にとらえて学び、それらを建築の設計・計画に応用し、利用できる能力の習得を目標とする。また、地球温暖化対策や資源の有効活用、廃棄物の再利用など環境に配慮した建築のあり方にも指針となるものとする。			
⑬ 授業の概要			
住環境の科学的基礎の学習。室内気候全般、空気環境、熱環境・光環境・音環境について人間との関わりを軸に学ぶ。また、人間の温熱感覚を表す指標やその測定方法、自然環境と建築物の基本的関係についても注目していく。			
⑭ 準備学習・事後学習			
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。			
⑮ 授業計画			
1	環境工学の概論	17	伝熱の基本1
2	太陽位置と日照1	18	伝熱の基本2
3	太陽位置と日照2	19	建物全体の熱特性1
4	日影・日射1	20	建物全体の熱特性2
5	日影・日射2	21	湿り空気と空気線図1
6	測光量と採光1	22	湿り空気と空気線図2
7	測光量と採光2	23	結露1
8	人工照明1	24	結露2
9	人工照明2	25	温熱感覚指標1
10	色彩の表し方と色彩計画1	26	温熱感覚指標2
11	色彩の表し方と色彩計画2	27	気象と都市環境1
12	空気汚染と必要換気量1	28	気象と都市環境2
13	空気汚染と必要換気量2	29	音の性質
14	自然換気と機械換気1	30	音響計画
15	自然換気と機械換気2	31	環境工学総まとめ
16	確認試験	32	確認試験
⑰ その他		教科書 教材	初学者の建築講座 建築環境工学 出版社：市ヶ谷出版社 著者：倉淵 隆
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。		科目コード 010301

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築設備				
② 対象学科		工業専門課程 建築工学科（昼間部）		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	54	⑥ 単位数	3
⑦ 担当教員(代表)		大橋 真一		⑧ 実務経験		
⑨ 授業形態		講義		⑩ 授業の実施方法	対面授業	
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
建築設備の概要を理解させる。建築と設備の関連性について習得させ、建築技術者として、建築設備の知識を育成する。建築設備の用語・方式を理解させる。建築設備全般的な考え方を理解させる。建築技術者として、建築設備の知識を習得する。						
⑬ 授業の概要						
人間生活をより快適でより安全とするための具体的な各種設備（給水・排水・ガス設備・電気設備・空調設備・電気設備等）について、用語から各種方式までを理解し、建築設備への全体的な考え方と適切な方式の選択方法などを学習する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	建築設備の分類・概論	17	電気設備の概要（役割・構成等）			
2	給排水衛生設備の概要（役割・構成等）	18	受変電・幹線・動力設備1			
3	給水設備（方式の種類と特徴・必要圧力・タンク設置規定・管材と施工方法等）1	19	受変電・幹線・動力設備2			
4	給水設備（方式の種類と特徴・必要圧力・タンク設置規定・管材と施工方法等）2	20	照明・コンセント設備			
5	給湯設備（方式の種類と特徴・給湯温度・管材と施工方法等）	21	電気設備のまとめ			
6	排水設備・通気設備（方式の種類と特徴・排水トラップ・管材と施工方法等）1	22	消火設備（方式の種類と特徴等）			
7	排水設備・通気設備（方式の種類と特徴・排水トラップ・管材と施工方法等）2	23	防災設備（自動火災報知設備）			
8	屋外排水設備（排水枅の種類・方式・施工法等）	24	ガス設備（方式・種類・機器性能等）			
9	排水処理設備（排水処理方法・浄化槽の性能）	25	消化防災設備のまとめ			
10	給排水衛生設備のまとめ	26	建築設備総まとめ			
11	空気調和設備の概要（役割・構成等）	27	確認試験			
12	空気調和設備（室内環境基準・種類・特徴・空調負荷・空調機器等）1	28				
13	空気調和設備（室内環境基準・種類・特徴・空調負荷・空調機器等）2	29				
14	換気設備（方式の種類と特徴・必要換気量の算出等）	30				
15	空調換気設備のまとめ	31				
16	確認試験	32				
⑰ その他		教科書	初学者の建築講座 建築設備	出版社：	市ヶ谷出版社	
		教材		著者：	大塚雅之	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	010401

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		構造力学	
② 対象学科		工業専門課程 建築工学科（屋間部）	
④ 必修・選択の別		③ 履修学年	
必修		1	
⑤ 時間数		⑥ 単位数	
64		4	
⑦ 担当教員(代表)		⑧ 実務経験	
小牧 友久		設計実務経験者	
⑨ 授業形態		⑩ 授業の実施方法	
講義		対面授業	
⑪ 評価基準			
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。			
⑫ 授業の目的・目標			
構造物に外力が作用した場合、構造物を安全かつ経済的に設計するための、構造計算の基礎となる一般原理を習得する。建築技術者として建築物の安全性に関わる非常に重要な建築構造の一分野であることを認識し、構造計画・計算のための基礎知識を習得する。			
⑬ 授業の概要			
力学の入門(力のモーメント・反力等)から、静定構造物に働く各種の荷重・応力等について理解し、構造物を構成する部材の大きさや断面の形状による力学的性質等についても学ぶ。さらには、静定構造物の解法から発展させ、不静定構造物について、より応力算定としては高度で複雑な計算知識と理論（固定モーメント法やD値法等）を習得する。崩壊荷重（耐力）を求める方法（仮想仕事法等）についても学ぶ。			
⑭ 準備学習・事後学習			
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。			
⑮ 授業計画			
1	力および荷重の基礎	17	トラスの解法（節点法・切断法）1
2	力のモーメント	18	トラスの解法（節点法・切断法）2
3	力の合成と分解	19	断面に関する数量（図心）
4	力の釣り合い	20	断面に関する数量（断面2次モーメント・断面係数）1
5	反力の求め方1	21	断面に関する数量（断面2次モーメント・断面係数）2
6	反力の求め方2	22	軸応力度（ひずみ度・ヤング係数）・せん断応力度1
7	単純梁の応力1	23	軸応力度（ひずみ度・ヤング係数）・せん断応力度2
8	単純梁の応力2	24	曲げ応力度1
9	片持ち梁の応力1	25	曲げ応力度2
10	片持ち梁の応力2	26	許容応力度・許容曲げモーメント1
11	単純梁系ラーメンの応力1	27	許容応力度・許容曲げモーメント2
12	単純梁系ラーメンの応力2	28	曲げ応力度と軸応力度の組み合わせ
13	3ヒンジラーメンの解法1	29	座屈・たわみ
14	3ヒンジラーメンの解法2	30	不静定構造（不静定構造とは・不静定構造の解法）
15	演習問題と解法	31	演習問題と解法
16	確認試験	32	確認試験
⑯ その他		教科書	基礎から学ぶ 建築構造設計
		教材	配布資料
		出版社：	実教出版
		著者：	実教出版編修部
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。		科目コード
			010502

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築一般構造				
② 対象学科		工業専門課程 建築工学科（屋間部）		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	64	⑥ 単位数	4
⑦ 担当教員(代表)		稲生 哲雄		⑧ 実務経験 設計実務経験者		
⑨ 授業形態		講義		⑩ 授業の実施方法 対面授業		
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
建築物の概要と構造の種類、構造方式の考え方について理解する。建築設計者・施工者としての必要な構造に関する技術・知識を養う。						
⑬ 授業の概要						
各種躯体（木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造・組積造・プレストレスコンクリート造等）の基本的な構法や、各部構法(基礎・屋根・壁・開口部・床・階段・天井・造作と納まり等)を学ぶ。そして、1つの建築物が建っていくまでの流れを理解したり、現存する建築物の構法についても理解を深める。						
⑭ 準備学習・事後学習						
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	導入（目的と目標、学習内容、前提知識）	17	鉄筋コンクリート造（各部の構造）			
2	木構造（木材、木構造の特徴）	18	鉄筋コンクリート造（階段）			
3	木構造（在来工法の基礎、床下換気口）	19	鉄筋コンクリート造（壁式鉄筋コンクリート構造）			
4	木構造（軸組、小屋組、床組）1	20	鉄筋コンクリート造後半まとめ			
5	木構造（軸組、小屋組、床組）2	21	鉄骨造（鋼材の特徴）			
6	木構造（筋交いと耐力壁）1	22	鉄骨造（構造形式）			
7	木構造（筋交いと耐力壁）2	23	鉄骨造（接合）			
8	木構造（階段、継手・仕口、金物）	24	鉄骨造（部材の設計）			
9	木構造（枠組み壁工法）	25	鉄骨造（各部の構造）			
10	木構造まとめ	26	鉄骨造（床板、階段、耐火被覆）			
11	鉄筋コンクリート造（コンクリートと鉄筋）	27	鉄骨造まとめ			
12	鉄筋コンクリート造（特徴、原理、構造形式）1	28	鉄骨鉄筋コンクリート造			
13	鉄筋コンクリート造（特徴、原理、構造形式）2	29	補強コンクリートブロック造・プレストレストコンクリート造			
14	鉄筋コンクリート造（配筋計画）	30	その他構造まとめ			
15	鉄筋コンクリート造前半まとめ	31	建築一般構造総まとめ			
16	確認試験	32	確認試験			
⑯ その他		教科書 教材	図説 やさしい建築一般構造	出版社： 著者：	学芸出版社 今村仁美・田中美都	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	010601	

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	建築構造演習		
② 対象学科	工業専門課程 建築工学科（昼間部）		③ 履修学年 1
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数 32	⑥ 単位数 2
⑦ 担当教員(代表)	近藤 幹	⑧ 実務経験	設計実務経験者
⑨ 授業形態	演習	⑩ 授業の実施方法	対面授業
⑪ 評価基準			
演習授業内試験を100点満点として実施し、60点以上を合格とする。			
⑫ 授業の目的・目標			
構造設計における基本的な手法や流れを理解するとともに、構造計画に関する知識を習得する。			
⑬ 授業の概要			
荷重・外力を学ぶ。耐震について学ぶ。建物全体の構造計画について学ぶ。			
⑭ 準備学習・事後学習			
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。			
⑮ 授業計画			
1	建物にはたらく力（固定荷重・積載荷重・積雪荷重）	17	
2	建物にはたらく力（風圧力）	18	
3	建物にはたらく力（地震力）と建築物の固有周期	19	
4	地震に対する対策（地震の歴史と構造計算）1	20	
5	地震に対する対策（地震の歴史と構造計算）2	21	
6	地震に効果的なその他の構造・耐震補強が必要な建物の診断1	22	
7	地震に効果的なその他の構造・耐震補強が必要な建物の診断2	23	
8	構造計画（建物の形状・併用構造建築物）1	24	
9	構造計画（建物の形状・併用構造建築物）2	25	
10	木造壁量計算1	26	
11	木造壁量計算2	27	
12	二級建築士演習問題1	28	
13	二級建築士演習問題2	29	
14	二級建築士演習問題3	30	
15	建築構造演習総まとめ	31	
16	確認試験	32	
⑰ その他	教科書 教材	図説 やさしい建築一般構造	出版社：学芸出版社 著者：今村仁美・田中美都
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。		科目コード 010602

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	建築材料				
② 対象学科	工業専門課程 建築工学科（昼間部）		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	32	⑥ 単位数	2
⑦ 担当教員(代表)	高橋 伸明		⑧ 実務経験		
⑨ 授業形態	講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準					
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。					
⑫ 授業の目的・目標					
木造・RC造・S造等の建築設計・施工時に使用される主要材料の製造・性質・種類などの基礎的な知識を習得する。建築実務に携わった際にプロとして対応できる基本的な知識を備えていること。建築材料の知識が、建築設計や施工時にどのように繋がっていくか習得する。					
⑬ 授業の概要					
建築物の具体的使用例等を例示しながら、セメント・コンクリート・金属・木材等の建築物としての主要建築材料や、その他塗料・ガラス・タイル・石材・左官材等の仕上げ材料の基本から応用的な知識までを学ぶ。また、新建材についても取り上げその特徴を分析する。					
⑭ 準備学習・事後学習					
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。					
⑮ 授業計画					
1	概要	17			
2	構造材料（木材）1	18			
3	構造材料（木材）2	19			
4	構造材料（鋼材）1	20			
5	構造材料（鋼材）2	21			
6	構造材料（コンクリート）1	22			
7	構造材料（コンクリート）2	23			
8	仕上げ材料（タイル・煉瓦）	24			
9	仕上げ材料（石材・ガラス）	25			
10	仕上げ材料（左官・吹付材）	26			
11	仕上げ材料（プラスチック）	27			
12	仕上げ材料（塗料）	28			
13	仕上げ材料（防水材料）	29			
14	その他の仕上げ材料	30			
15	建築材料総まとめ	31			
16	確認試験	32			
⑯ その他		教科書	初学者の建築講座 建築材料	出版社：市ヶ谷出版社	
		教材		著者：橘高義典 他	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	010701

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築施工Ⅰ				
② 対象学科		工業専門課程 建築工学科（屋間部）		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	64	⑥ 単位数	4
⑦ 担当教員(代表)		岩雲 康弘		⑧ 実務経験	施工実務経験者	
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法		対面授業	
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
工事の着工から竣工までの一連の流れを通じて、契約・積算・施工計画の立案、各工事の工法について建築士として必要な知識と技術を習得する。						
⑬ 授業の概要						
鉄筋コンクリート・鉄骨・木・土工事等の躯体工事における基本的な施工方法や、左官・防水・内装等の仕上げ工事の施工方法についての知識を習得する。また、工事の請負契約および請負制度の概要についても学習する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	建築生産（設計と施工）1	17	仕上工事（屋根工事）1			
2	建築生産（設計と施工）2	18	仕上工事（屋根工事）2			
3	施工計画（品質管理・材料管理・工程管理・安全管理・工程表の理解）1	19	仕上工事（防水工事）1			
4	施工計画（品質管理・材料管理・工程管理・安全管理・工程表の理解）2	20	仕上工事（防水工事）2			
5	仮設工事・準備工事（共通仮設工事・直接仮設工事・施工機械）1	21	仕上工事（左官工事）1			
6	仮設工事・準備工事（共通仮設工事・直接仮設工事・施工機械）2	22	仕上工事（左官工事）2			
7	土工事・地業・基礎工事1	23	仕上工事（タイル工事・石工事）1			
8	土工事・地業・基礎工事2	24	仕上工事（タイル工事・石工事）2			
9	躯体工事（鉄筋コンクリート工事）1	25	仕上工事（建具工事・ガラス工事）1			
10	躯体工事（鉄筋コンクリート工事）2	26	仕上工事（建具工事・ガラス工事）2			
11	躯体工事（鉄骨造）1	27	仕上工事（内装工事・塗装工事）1			
12	躯体工事（鉄骨造）2	28	仕上工事（内装工事・塗装工事）2			
13	躯体工事（木工事）1	29	仕上工事まとめ1			
14	躯体工事（木工事）2	30	仕上工事まとめ2			
15	躯体工事まとめ	31	建築施工Ⅰ総まとめ			
16	確認試験	32	確認試験			
⑰ その他		教科書 教材	1級建築施工管理技士 基本テキスト	出版社： 著者：	TAC出版	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	010801	

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築施工Ⅱ	
② 対象学科		工業専門課程 建築工学科（昼間部）	
④ 必修・選択の別		⑤ 時間数	48
⑦ 担当教員(代表)		⑧ 実務経験	設計実務経験者
⑨ 授業形態		⑩ 授業の実施方法	対面授業
⑪ 評価基準			
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。			
⑫ 授業の目的・目標			
「建築施工Ⅰ」で習得した知識・技術を基盤として、各段階における施工技術の理解を一級建築士及び1級建築施工管理技士レベルへと深化させるとともに、顧客満足度の高い建築物を完成させるために必要な建築生産を学習する。			
⑬ 授業の概要			
実際の施工事例や各種納まり図、過去の国家試験問題を例題として取り上げ、授業内容と建築士試験及び施工管理技士試験を関連付けることで、試験に対応できる応用力を養う。			
⑭ 準備学習・事後学習			
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。			
⑮ 授業計画			
1	施工計画・施工機械	17	
2	工事管理・申請・届出	18	
3	地盤調査・仮設工事	19	
4	土工事・基礎工事	20	
5	コンクリート工事	21	
6	鉄骨工事・プレキャスト工事	22	
7	メーソソリー工事・ALC工事	23	
8	防水工事	24	
9	張石工事・タイル工事	25	
10	木工事・左官工事	26	
11	屋根工事・金属工事	27	
12	カーテンウォール工事・ガラス工事	28	
13	内装工事・塗装工事	29	
14	改修工事・設備工事	30	
15	請負契約	31	
16	確認試験	32	
⑰ その他		教科書 教材	1級建築施工管理技士 基本テキスト 出版社：TAC出版 著者：
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。		科目コード 010802

授業計画 (シラバス)

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	建築生産				
② 対象学科	工業専門課程 建築工学科 (昼間部)		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	22	⑥ 単位数	1
⑦ 担当教員(代表)	鈴木 樹	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態	講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準					
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。					
⑫ 授業の目的・目標					
<p>建築施工の現場において、現場監督が行う業務の「施工図」と「積算」に関する内容を演習形式で学習することにより、両者の関連性を理解するとともに、図面の読解能力・作図力を養う。また、作図した施工図の工事数量を拾い出すことにより、積算方法の習得させ建築数量積算基準に関する理解を深め、コスト感覚を体得することを目標とする。</p>					
⑬ 授業の概要					
<p>躯体工事施工図(鉄筋コンクリート造)の見方・描き方、チェック方法を、簡単な実務設計図面を使用したコンクリート躯体図の作成を通して学ぶ。さらに、その図面を使った積算数量の拾い出しを演習形式で実施し、明細積算書を作成する。</p>					
⑭ 準備学習・事後学習					
<p>単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。</p>					
⑮ 授業計画					
1	【施工図】コンクリート躯体図の作図方法、手順	17			
2	【施工図】コンクリート躯体図作図 (基礎)	18			
3	【施工図】コンクリート躯体図作図 (一般階)	19			
4	【施工図】コンクリート躯体図作図 (最上階)	20			
5	【施工図】コンクリート躯体図作図 (階段)	21			
6	【積算】建築数量積算基準の概要および積算価格の構成についての解説・土工事積算 解説	22			
7	【積算】RC造 コンクリート・型枠数量 (基礎・柱) 解説・演習	23			
8	【積算】RC造 コンクリート・型枠数量 (梁) 解説・演習	24			
9	【積算】RC造 コンクリート・型枠数量 (スラブ) 解説・演習	25			
10	【積算】RC造 コンクリート・型枠数量 (壁) 解説・演習	26			
11	確認試験	27			
12		28			
13		29			
14		30			
15		31			
16		32			
⑰ その他	教科書	積算協会のPCMシリーズ 建築積算	出版社:	日本建築積算協会	
	教材	配布資料・電卓	著者:	日本建築積算協会	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	010803

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築法規Ⅰ				
② 対象学科		工業専門課程 建築工学科（昼間部）		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	64	⑥ 単位数	4
⑦ 担当教員(代表)		峰松 将馬		⑧ 実務経験	設計実務経験者	
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法		対面授業	
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
我が国の建築活動は法律に基づいて行われており、建築基準法は構造・防火・避難・衛生に関する技術基準や、用途・密度・形態など集団秩序の基準を定めている。また、それらを担保する制度や手続きも規定している。本授業ではこの建築基準法を中心に学び、建築業務に必要な法律知識を身につけ、社会の変化に対応できる人材の育成を目指す。						
⑬ 授業の概要						
建築基準法を理解する上で重要な用語の定義について図解等を交えてわかりやすく解説する。また、建築基準法及び建築基準法施行令を基本として、建築物自体の主要な技術基準、都市計画区域等における主要な建築制限、制度規定について、法の基因関係から逐条の解説を実際例と併せて解説すると共に法文内容の理解を深めるために演習を行う。						
⑭ 準備学習・事後学習						
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	建築法規の概要・建築基準法の概要1	17	居室の採光1			
2	建築法規の概要・建築基準法の概要2	18	居室の採光2			
3	建築に関する用語の定義1	19	居室の採光3			
4	建築に関する用語の定義2	20	居室の換気、アスベスト規制、シックハウス1			
5	建築に関する用語の定義3	21	居室の換気、アスベスト規制、シックハウス2			
6	建築に関する用語の定義4	22	居室の天井高・床高・階段の寸法等1			
7	面積、高さ等の算定1	23	居室の天井高・床高・階段の寸法等2			
8	面積、高さ等の算定2	24	道路関係1			
9	面積、高さ等の算定3	25	道路関係2			
10	面積、高さ等の算定4	26	用途地域1			
11	建築基準法に関わる手続き1	27	用途地域2			
12	建築基準法に関わる手続き2	28	容積率・建ぺい率1			
13	建築基準法に関わる手続き3	29	容積率・建ぺい率2			
14	建築基準法に関わる手続き4	30	採光・換気・高さ・道路・用途地域・容積まとめ			
15	用語・面積・手続きまとめ	31	建築法規Ⅰ総まとめ			
16	確認試験	32	確認試験			
⑯ その他		教科書	建築基準関係法令集	出版社：	日建学院	
		教材		著者：	日建学院	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	010901

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築法規Ⅱ	
② 対象学科		工業専門課程 建築工学科（昼間部）	
④ 必修・選択の別		⑤ 時間数	54
		⑥ 単位数	3
⑦ 担当教員(代表)		松井 一将	
		⑧ 実務経験	
⑨ 授業形態		⑩ 授業の実施方法 対面授業	
⑪ 評価基準			
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。			
⑫ 授業の目的・目標			
我が国の建築活動は法律に基づいて行われており、建築基準法は構造・防火・避難・衛生に関する技術基準や、用途・密度・形態など集団秩序の基準を定めている。また、それらを担保する制度や手続きも規定している。本授業ではこの建築基準法を中心に学び、建築業務に必要な法律知識を身につけ、社会の変化に対応できる人材の育成を目指す。			
⑬ 授業の概要			
建築基準法を理解する上で重要な用語の定義について図解等を交えてわかりやすく解説する。また、建築基準法及び建築基準法施行令を基本として、建築物自体の主要な技術基準、都市計画区域等における主要な建築制限、制度規定について、法の基因関係から逐条の解説を実際例と併せて解説すると共に法文内容の理解を深めるために演習を行う。			
⑭ 準備学習・事後学習			
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。			
⑮ 授業計画			
1	高さ制限1	17	内装制限1
2	高さ制限2	18	内装制限2
3	高さ制限3	19	内装制限3
4	日影規制1	20	避難施設1
5	日影規制2	21	避難施設2
6	日影規制3	22	避難施設3
7	防火・準防火地域の制限1	23	構造強度1
8	防火・準防火地域の制限2	24	構造強度2
9	防火・準防火地域の制限3	25	構造強度3
10	防火壁等・耐火・準耐火建築物1	26	建築法規Ⅱ総まとめ
11	防火壁等・耐火・準耐火建築物2	27	確認試験
12	防火壁等・耐火・準耐火建築物3	28	
13	防火区画1	29	
14	防火区画2	30	
15	防火区画3	31	
16	確認試験	32	
⑰ その他		教科書 教材	建築基準関係法令集 出版社：日建学院 著者：日建学院
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。		科目コード 010902

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築法規Ⅲ	
② 対象学科		工業専門課程 建築工学科（昼間部）	③ 履修学年 2
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数 33
⑦ 担当教員(代表)		松井 一将	⑥ 単位数 2
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法 対面授業
⑪ 評価基準			
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。			
⑫ 授業の目的・目標			
我が国の建築活動は法律に基づいて行われており、建築基準法は構造・防火・避難・衛生に関する技術基準や、用途・密度・形態など集団秩序の基準を定めている。また、それらを担保する制度や手続きも規定している。本授業ではこの建築基準法を中心に学び、建築業務に必要な法律知識を身につけ、社会の変化に対応できる人材の育成を目指す。			
⑬ 授業の概要			
建築士法、高齢者、障害者等の移動と運円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）、都市計画法など、建築手続きや施工に関連する法規について、各法令の目的や規制の内容、法令同士の関連などについて、逐条の解説を実際例と併せて行うと共に、法文内容の理解を深めるために演習を行う。			
⑭ 準備学習・事後学習			
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。			
⑮ 授業計画			
1	建築士法 1. 概要、定義	17	
2	建築士法 2. 業務、事務所	18	
3	バリアフリー法 1. 概要、定義	19	
4	バリアフリー法 2. 建築物移動等円滑化基準、建築物移動等円滑化誘導基準	20	
5	バリアフリー法 3. 計画の認定	21	
6	耐震改修促進法 1. 概要、定義	22	
7	耐震改修促進法 2. 計画の認定	23	
8	都市計画法 1. 概要、定義	24	
9	都市計画法 2. 開発許可、建築許可	25	
10	消防法	26	
11	確認試験	27	
12		28	
13		29	
14		30	
15		31	
16		32	
⑰ その他		教科書 建築基準関係法令集	出版社： 日建学院 著者： 日建学院
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。		科目コード 010903

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	施工管理				
② 対象学科	工業専門課程 建築工学科（昼間部）		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	36	⑥ 単位数	2
⑦ 担当教員(代表)	岩雲 康弘		⑧ 実務経験	施工実務経験者	
⑨ 授業形態	演習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準					
演習授業内試験を100点満点として実施し、60点以上を合格とする。					
⑫ 授業の目的・目標					
施工監理に必要な建築学の知識に加え、施工計画・工程管理・品質管理・安全管理といった実務上重要な管理技術を習得し、現場施工監督者（管理者）として求められる力を養う。					
⑬ 授業の概要					
施工計画・安全管理・工程管理・品質管理などについて、過去の国家試験問題を例題として学習し、建築施工管理技士試験に対応した授業内容と建築士試験を関連付けながら、試験に対応できる応用力を養う。					
⑭ 準備学習・事後学習					
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。					
⑮ 授業計画					
1	建築学等、施工計画	17			
2	工程管理、品質管理	18			
3	安全管理、建設業法	19			
4	労働基準法・労働安全衛生法	20			
5	その他関係法令	21			
6	確認試験	22			
7		23			
8		24			
9		25			
10		26			
11		27			
12		28			
13		29			
14		30			
15		31			
16		32			
⑰ その他	教科書 教材	1級建築施工管理技士 基本テキスト	出版社： 著者：	TAC出版	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	011003

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築IT I	
② 対象学科		工業専門課程 建築工学科（昼間部）	
④ 必修・選択の別		⑤ 時間数	32
⑦ 担当教員(代表)		⑧ 実務経験	⑥ 単位数
⑨ 授業形態		⑩ 授業の実施方法	
⑪ 評価基準		対面授業	
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。			
⑫ 授業の目的・目標			
パソコンのリテラシーの習得を目指す。ビジネス文書の作成やプレゼンテーションにおける視覚資料の作成等、建築技術者として業務に必要なパソコン操作や書類作成を行うことができる基礎能力を養う。			
⑬ 授業の概要			
PCの基本操作を学び、実践的演習を行う。また、ワープロ・プレゼンテーションソフトの活用により各種業務の技術を体得する。			
⑭ 準備学習・事後学習			
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。			
⑮ 授業計画			
1	WindowsOSの基礎、ネットワークドライブの利用	17	
2	Word入門、文字や短文入力、文書の保存	18	
3	Word基礎、書式設定、編集、ビジネス文書の基礎知識	19	
4	Word活用、社外文書の作成	20	
5	社外文書の編集、表の挿入、その他オブジェクト要素の利用	21	
6	Word応用、差し込み印刷	22	
7	DTP機能の活用、様々な機能を利用した文書の作成	23	
8	プレゼンテーションの学習（概要、重要な点、プロセスなど）	24	
9	PowerPointを使ったプレゼンテーション資料の作成、基礎	25	
10	プレゼンテーション資料のブラッシュアップ	26	
11	グラフや図形の挿入、イラストやオブジェクトの挿入	27	
12	プレゼンテーション本番に向けて、アニメーション機能、リハーサル操作	28	
13	プレゼンテーションの表現力、実施の注意と反省	29	
14	その他、PowerPoint拡張機能	30	
15	総まとめ	31	
16	確認試験	32	
⑰ その他		教科書	Word2021 プレゼンテーション
		教材	配布資料
		出版社：	実教出版
		著者：	実教出版編修部
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。		科目コード
			011004

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築ⅠⅡ		③ 履修学年		2	
② 対象学科		工業専門課程 建築工学科（昼間部）		⑥ 単位数		1	
④ 必修・選択の別		必修		⑤ 時間数		32	
⑦ 担当教員(代表)		臼井 あゆみ		⑧ 実務経験			
⑨ 授業形態		実習		⑩ 授業の実施方法		対面授業	
⑪ 評価基準							
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。							
⑫ 授業の目的・目標							
「建築ⅠⅡ」で習得した知識・技術に加え、表計算等の知識や、画像処理等のソフトを利用し、建築技術者として業務に必要なパソコン操作や書類作成をより高度に行うことができる能力を養う。							
⑬ 授業の概要							
電子データの基本的考え方を学び、標準化・共有化の実践的演習を行う。また、ワープロ・表計算ソフトの活用により見積書、確認申請等の各種建築関係書類の作成技術を体得する。							
⑭ 準備学習・事後学習							
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。							
⑮ 授業計画							
1	Excel入門、表作成の基礎、データ入力、編集	17					
2	Excel基本関数 SUM、AVERAGE、便利なデータの 入力方法、オートフィル機能	18					
3	罫線、ワークシートの活用、相対参照と絶対参照	19					
4	Excel基本関数 MAX、MIN、COUNTと関連した 関数	20					
5	Excel基本関数 数値の操作に関する関数	21					
6	Excel応用関数 IF（基本、複合、ネスト）	22					
7	条件付き書式、スパークライン	23					
8	グラフ基礎	24					
9	グラフ応用	25					
10	データベース機能	26					
11	Excel応用関数 RANK.EQ、VLOOKUP、 HLOOKUP	27					
12	Excel応用関数 文字列の操作に関する関数	28					
13	条件付き集計関数、COUNTIFS、SUMIFS、 AVERAGEIFS	29					
14	見積書、請求書、領収書の作成	30					
15	総まとめ	31					
16	確認試験	32					
⑰ その他		教科書	30時間でマスター Word & Excel 2021	出版社：	実教出版		
		教材	配布資料	著者：	実教出版編修部		
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	011005	

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築総合演習（基礎）				
② 対象学科		工業専門課程 建築工学科（昼間部）		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	96	⑥ 単位数	3
⑦ 担当教員(代表)		岩雲 康弘		⑧ 実務経験		施工実務経験者
⑨ 授業形態		実習		⑩ 授業の実施方法		対面授業
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
建築の基礎知識を基に、実務として建築物を具体化させる上で必要となる基本的知識・技術について実習を中心に学ぶ。 また、専攻分野の概要を理解し、調査方法や作品制作の基本的手順やまとめ方について、実習を通して体得する。						
⑬ 授業の概要						
建築設計・各種プレゼンテーションについて、建築模型、建築デザイン、3次元CAD、デジタルデザインのコース毎に、基礎的知識・技術を実習を通して身につける。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	建築模型 基礎・練習	17	イラストレーター(基本操作、機能説明)			
2	建築模型 開口部練習	18	イラストレーター(基本操作、機能説明)			
3	建築模型 住宅模型作成	19	フォトショップ (写真の加工)			
4	建築模型 住宅模型作成	20	フォトショップ (写真の加工)			
5	建築模型 住宅模型作成	21	イラストレーター(プレゼンボード作成)			
6	建築模型 住宅模型作成	22	イラストレーター(プレゼンボード作成)			
7	建築模型 住宅模型作成	23	イラストレーター(プレゼンボード作成)			
8	建築パース 透視図	24	アーキキャド(基本操作、機能説明)			
9	建築パース 住宅内観 1消点パース作図	25	アーキキャド(モデリング練習)			
10	建築パース 住宅内観 1消点パース作図	26	アーキキャド(住宅モデリング)			
11	建築パース 住宅2消点パース作図	27	アーキキャド(住宅モデリング)			
12	建築パース 住宅2消点パース作図	28	アーキキャド(住宅モデリング)			
13	建築パース 住宅2消点パース作図	29	アーキキャド(住宅モデリング)			
14	建築パース 住宅2消点パース着色	30	アーキキャド(住宅モデリング)			
15	建築パース 住宅2消点パース着色	31	アーキキャド(住宅レンダリング)			
16	まとめ	32	まとめ			
⑰ その他		教科書	出版社：			
		教材	著者：			
		配布資料				
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	011018

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築総合演習（実践）				
② 対象学科		工業専門課程 建築工学科（昼間部）		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	162	⑥ 単位数	5
⑦ 担当教員(代表)		児玉 道子		⑧ 実務経験 設計実務経験者		
⑨ 授業形態		実習	⑩ 授業の実施方法		対面授業	
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
1年次習得した各科目内容を実務的視点から総合的にとらえ、実習作業を通して建築全般の理解を深める。さらに選択した分野に関して自ら調査研究・作品制作する機会を得ることで、専攻分野に特化した実務能力を高める						
⑬ 授業の概要						
建築設計（店舗設計除く）、店舗設計、建築CGパース、建築パース、建築模型、リフォーム等の中から希望の分野を選択し、担当教官のもと作品を制作する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	設計1 課題説明	17	設計3 課題説明			
2	設計1 エスキース	18	設計3 エスキース			
3	設計1 エスキース、スタディ模型	19	設計3 エスキース			
4	設計1 エスキース、スタディ模型	20	設計3 エスキース、スタディ模型			
5	設計1 基本図作成	21	設計3 エスキース、スタディ模型			
6	設計1 基本図作成	22	設計3 ダイアグラム作成			
7	設計1 プレゼンテーション作成、模型	23	設計3 プレゼンテーション作成、模型			
8	設計1 プレゼンテーション作成、模型	24	設計3 プレゼンテーション作成、模型			
9	講評	25	設計3 プレゼンテーション作成、模型			
10	設計2 課題説明、エスキース	26	設計3 プレゼンテーション作成、模型			
11	設計2 エスキース	27	講評			
12	設計2 エスキース、スタディ模型	28				
13	設計2 基本図作成	29				
14	設計2 プレゼンテーション作成、模型	30				
15	設計2 プレゼンテーション作成、模型	31				
16	講評	32				
⑰ その他		教科書		出版社：		
		教材		著者：		
		配布資料				
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	011019	

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		卒業制作・演習				
② 対象学科		工業専門課程 建築工学科（昼間部）		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	150	⑥ 単位数	5
⑦ 担当教員(代表)		児玉 道子		⑧ 実務経験		設計実務経験者
⑨ 授業形態		実習		⑩ 授業の実施方法		対面授業
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
2年間で習得した建築の知識と技術の集大成として、「建築総合演習」をさらに発展的にスケールアップした作品制作や研究をする。 個々の自由なテーマで実用的で魅力的な創造作品を完成させる。						
⑬ 授業の概要						
建築設計（店舗設計除く）、店舗設計、建築CGパース、建築パース、建築模型、リフォーム等の中から希望の分野を選択し、担当教官のもと作品の制作をし卒業制作展を開催し出品する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	設計	課題説明	17			
2	設計	エスキース、スタディ模型	18			
3	設計	基本図作成	19			
4	設計	プレゼンテーション作成、模型	20			
5	講評		21			
6			22			
7			23			
8			24			
9			25			
10			26			
11			27			
12			28			
13			29			
14			30			
15			31			
16			32			
⑰ その他		教科書		出版社：		
		教材		著者：		
		配布資料				
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	011020

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築測量実験	
② 対象学科		工業専門課程 建築工学科（昼間部）	
④ 必修・選択の別		⑤ 時間数	48
⑦ 担当教員(代表)		⑧ 実務経験	施工実務経験者
⑨ 授業形態		⑩ 授業の実施方法	対面授業
⑪ 評価基準			
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。			
⑫ 授業の目的・目標			
一つの建築物を設計し、竣工するまでに必要な様々な建築測量技術を習得する。測量技術がどのように使われるかを知り、正確な計測、計算が出来るような力を養成する。また、一つの建築物が完成するまでに使用される主な構造材料（セメント・骨材・コンクリート・鉄筋等）の基本的な性能を理解する。			
⑬ 授業の概要			
設計前の敷地調査や建築工事現場で使用する主要な測量関係機器の基本的な使用方法を習得する。実際の敷地・建物を想定して、測量機器を用いて実務に即した実習をする。直接、実験材料に触れることによってその性能や特性を学ぶ。セメント・骨材・コンクリート・鉄筋等の物理的性質を学び、それぞれの材料試験を行うことによってその性質・寸法・形状等が要件にかなったものであることを確かめる。			
⑭ 準備学習・事後学習			
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。			
⑮ 授業計画			
1	距離測量の基礎	17	角測量の基礎
2	距離測量の応用(建物内外部の計測・集計)1	18	角測量の応用(基礎・一般階の墨出し)1
3	距離測量の応用(建物内外部の計測・集計)2	19	角測量の応用(基礎・一般階の墨出し)2
4	距離測量の応用(建物内外部の計測・集計)3	20	角測量の応用(基礎・一般階の墨出し)3
5	距離測量のまとめ	21	角測量のまとめ
6	高低測量の基礎	22	コンクリート調合設計1
7	高低測量の応用(定規の取り扱い等)1	23	コンクリート調合設計2
8	高低測量の応用(定規の取り扱い等)2	24	コンクリート調合設計3
9	高低測量の応用(定規の取り扱い等)3	25	コンクリートスランプ試験・空気量試験1
10	高低測量のまとめ	26	コンクリートスランプ試験・空気量試験2
11	平板測量の基礎	27	コンクリートスランプ試験・空気量試験3
12	平板測量と距離測量の応用(土地面積計測・計算)1	28	コンクリート圧縮試験・鉄筋引張試験1
13	平板測量と距離測量の応用(土地面積計測・計算)2	29	コンクリート圧縮試験・鉄筋引張試験2
14	平板測量と距離測量の応用(土地面積計測・計算)3	30	コンクリート圧縮試験・鉄筋引張試験3
15	平板測量のまとめ	31	コンクリートのまとめ
16	距離測量・高低測量・平板測量のまとめ	32	総まとめ
⑰ その他		教科書	出版社：
		教材	著者：
		配布資料	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。		科目コード 011021